

第 26 回総括検討会議事録

1. 開催日時 : 2024 年 11 月 20 日 (水) 15 時 00 分～16 時 40 分
2. 開催場所 : 一般社団法人 日本電気協会 4 階 B 会議室 (Web 併用会議)
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
出席委員 : 藤田主査(東京電機大学), 中村副主査(東京都市大学), 野元幹事(日本原燃),
行徳副幹事(日立 GE ニュークリア・エンジニア), 白井(日本原燃フェロー),
岡田(電力中央研究所), 橋本(東京電力 HD), 今村(東京電力 HD),
岩瀬(中部電力), 松田(関西電力), 岩田(電源開発), 綿引(東京電力 HD),
古江(鹿島建設), 大橋(清水建設), 宇賀田(大成建設), 藪下(竹中工務店),
樋口(東芝エネルギーシステムズ), 伊神(MHI NS エンジニアリング) (計 18 名)
代理出席者 : 川島(大林組, 諸菱委員代理) (計 1 名)
欠席委員 : なし (計 0 名)
オブザーバ : なし (計 0 名)
説明者 : 中野(日立 GE ニュークリア・エンジニア) (計 1 名)
事務局 : 美濃, 原, 田邊(日本電気協会) (計 3 名)

4. 配付資料

- 資料 No.26-1 第 25 回総括検討会議事録 (案)
資料 No.26-2-1 2025 年度各分野の規格策定活動 (案)
資料 No.26-2-2 原子力規格委員会 耐震設計分科会 2025 年度活動計画(案)

5. 議事

事務局から, 本検討会にて私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認及び Web 会議での注意事項説明の後, 藤田主査より開催の挨拶があり, その後議事が進められた。

(1) 資料確認, 代理出席者の承認 他

事務局から配付資料の確認の後, 代理出席者 1 名の紹介があり, 分科会規約第 13 条 (検討会) 第 7 項に基づき, 主査の承認を得た。本日の出席者は, 現時点で代理出席者も含め 19 名で, 分科会規約第 13 条 (検討会) 第 15 項に基づく決議条件の「委員総数の 2/3 以上の出席」を満たしていることを確認した。その後説明者 1 名の紹介があった。

(2) 前回議事録 (案) の確認 (審議)

事務局より, 資料 No.26-1 に基づき, 前回議事録 (案) の紹介があり, 「2023 年度活動実績・2024 年度活動計画について」に関する表現の見直しを行ったうえで正式議事録とすることについて, 分科会規約第 13 条 (分科会) 第 15 項に基づいて, 挙手及び Web の挙手機能により

決議の結果、出席委員の5分の4以上の賛成で承認された。

(3) 2024年度活動実績・2025年度活動計画について

各検討会幹事より、資料 No.26-2-1 及び資料 No.26-2-2 に基づき、2024年度活動実績・2025年度活動計画について説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 津波検討会では JEAC4629 を改定予定ということであるが、土木構造物検討会では JEAG4601 の基準津波のパートを別の指針 (JEAG4629: 仮称) とするということが計画している。それらを一冊の規格にするという議論もあり、両検討会で相談しながら進めていきたい。JEAG/JEAC4601 の改訂はいつ頃になるのか。
→ JEAG/JEAC 4601 の次回改訂は、技術評価がある程度片付いてからと考えている。
JEAC4629 と JEAG4629 については、それぞれでしっかりと進めるものとし、構成については総括検討会や分科会でも議論していけばよい。
- ・ JEAG4629 の製本時の厚さが薄くなった時に、パッケージとして JEAC と合わせて一冊にした方がよいという考え方もあるが、どういう形の規格を目指して検討していくか。
→ JEAC と JEAG でしっかりと内容を検討することで、製本時にどうするかは選択できるものであり、連携して進めていくものとする。JEAC と JEAG の使い分けについては、事務局にて確認する。
- ・ 資料 No.26-2-1 の 12 頁で、(公社) 日本地震工学会「原子力発電所の地震安全の基本原則に関わる研究委員会」での検討に基づく原子力発電所の地震安全の基本原則について、総括検討会にて規格への反映に関する検討状況を分科会に報告するということが記されているが、これについてはいつ頃報告予定か。
→ 現在リスク情報についてまとめている所であり、ワーキングの進捗によると考えている。
- ・ 資料 No.26-2-2 の JEAC4601 と JEAG4601 の活動実績で、JEAC は最新知見を確認した結果 (改定が必要な項目はない) が書かれているが、JEAG では反映すべき内容の確認をしたことの記載はあるがその結果に関する記載がない。JEAC に合わせて、喫緊の改定が必要な知見はないことを確認した等の統一した記載にした方がよい。
- ・ 資料 No.26-2-2 の能登沖地震については、地盤が隆起した等の考慮について記載する必要はないのか。
→ 能登沖地震の影響である隆起に関しては規格にすでに盛り込み済みであり、特別な地震ではないということで、新たに反映する項目は無いと考える。ただし、記載としては、能登沖地震等を含めて反映する項目が無いかを確認し、規格に影響する項目は特になかった、ということを目頭に反映記載する方向で相談したいと考える。
- ・ JEAC4601 の 2025 年度計画について、技術評価に必要な資料を作成していくということが記載されているが、各検討会のフォーマットとか、どういう内容を資料に記載するとかをまとめておいた方がよいと考える。
→ 現在 JEAC4201,4206 の技術評価が実施中であり、どのような資料を提出しているかといっ

た状況を参考に、対応を進めるのが効率的と考える。

- ・ 資料 No.26-2-2 の JEAG4601 の制・改・廃の見通しが 2021 年度改定になっているが、これは見通しなので修正した方が良く考える。

→ JEAC4601 と合わせる形で修正したいと考える。

- ・ 資料 No.26-2-2 の 2 頁の 2025 年度活動計画で、その他の項目で JSME のタスクフェーズ 2 が消されているが、記載を残してほしい。また、8 ページの津波検討会の 2025 年度活動計画の記載で「ユーザーからの指摘・意見がある場合には、その対応について検討する」が消えている。共通的に入れていることから、残すようにしてほしい。また、この記載のない火山検討会の項目にも入れてほしい。

→ 修正する。

- ・ 2025 年度活動計画については、今回の総括検討会での意見を反映して、次回総括検討会で示すようにしたいと考える。

(4) その他

次回総括検討会開催は、見直した 2025 年度活動計画について決議を取り、耐震設計分科会に上程することを目的として、2 月上旬位に開催をしたいと考える。詳細な開催日については事務局より各委員に別途連絡する。

以 上